



但馬水産技術センターだより



漁況情報 (G0707号)

平成19年10月31日
兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

平成19年度ズワイガニ漁況の見通しについて

調査船「たじま」による調査結果等から見た今期のズワイガニ漁況の見通しについて報告します。

1. 今漁期の見通し

①解禁直後に漁場となる**但馬沖海域**において、**メスがに(クロコ)**の現存量は前年並か前年をやや上回り、**オスがに(硬がに)**は前年をやや下回っていると見られます。**メスがにの漁場**は保護区域周辺の水深235-245m付近を中心に形成されるでしょう。

②漁期全体としては、**隠岐島周辺海域**を中心に前年並みの漁獲が期待できるでしょう。

2. 根拠となった情報

1) 調査船「たじま」による調査結果

①トロール試験操業

平成19年10月16~23日に、但馬沖の水深175~350mに設けた計12点(図1)でトロール網試験操業(3ノット1.4マイル曳き)を実施しました。

メスがに(漁期中にクロコとなる個体)は水深235~245mで多く入網しました(表1)。前年ほど極端ではありませんが**分布の中心がやや浅い傾向**が続いているようです。**1曳網当たり入網数**は、竹野・香住・浜坂沖の**いずれも前年を上回りました**(表2)。

オスがに(硬がに)は水深200~350mで入網しました(表1)。**1曳網当たり入網数**は香住沖全平均では4.2匹で前年の5.2匹を下回りました(表2)。竹野沖、浜坂沖の240-250mでも同様の傾向でした。

ミズがには水深200m付近で多く入網し、前年を上回りました。(表1)

②かにかご試験操業

トロール調査に先立ち平成19年6月11-12日に香住沖保護区域内外の水深250m(図1)で実施したかにかご調査(20かご、1昼夜浸漬)ではオス、メスともに昨年の入網数を下回りました(表3)。特にメスがにでは過去に例を見ない低水準でしたが、トロール調査結果とともにメスの分布水深が浅めにシフトしていることを示唆しているものと考えています。

2) 他調査機関の情報

毎年ズワイガニの資源評価を行っている(独)水産総合研究センターでは、「**隠岐島付近の海域を中心に資源量が増大、漁獲量も増加傾向**」とコメントしています(同センターHP、平成19年度資源評価票より)。しかし、**隠岐島周辺での現存量は昨年を下回るとみる府県研究者もいます**。

3. その他

- ・アカガレイは水深235m以深で比較的多く入網しました(表1)。
- ・エチゼンクラゲはほとんどの操業点で入網しました(表1)。現時点では前年より少ないようですが(表2)注意が必要です。改良漁具なども活用しながら慎重に操業して下さい。
- ・稚がに・若齡がにが多く分布する海域では操業自粛や迅速な再放流に努めましょう。(図2)
- ・標識の付いたズワイガニを再捕された場合は、漁協または当センターまでご報告願います。

お問い合わせ先：兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター (担当：大谷)

TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684

E-mail：nouringc_tajima@pref.hyogo.jp

ホームページ：http://agri.pref.hyogo.jp/nsiweb/web2/nougi/tajima/

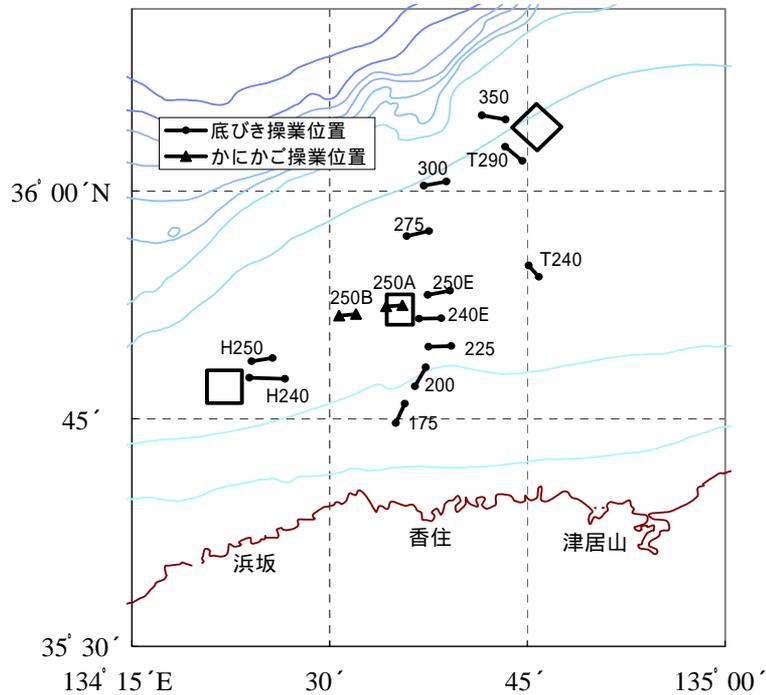


図1 調査海域図

表1 トロール網試験操業におけるズワイガニ等入網状況

漁場	年月日	定点	曳網水深 (m)	ズワイガニ入網数(匹/網)			アカガレイ 入網重量 (kg/網)	エチゼンクラゲ 入網重量 (kg/網)	海底 水温 ()
				オス ^{*1}	ミズ ^{*2}	メス ^{*3}			
竹野沖	2007/10/23	T290	296 283	4	0	1	18.9	8	1.2
	"	T240	239 233	3	3	168	2.2	0	1.6
香住沖	"	350	325 312	11	3	1	16.1	35	0.8
	2007/10/22	300	298 295	0	1	1	7.4	90	1.3
	"	275	276 273	3	9	0	25.5	40	1.4
	2007/10/16	250E	245 248	4	2	49	16.8	25	1.5
	2007/10/16	240E	240 233	2	1	66	6.5	120	1.7
	2007/10/16	225	223 216	7	4	1	5.0	95	2.3
	2007/10/23	200	205 194	1	56	0	2.1	90	2.4
"	175	174 150	0	1	0	0.1	260	3.1	
浜坂沖	2007/10/22	H250	247 245	7	10	6	24.8	30	1.5
	"	H240	234 234	3	2	204	27.1	40	1.7

*1 硬がに(甲幅9cm以上・硬甲・ハサミ大)

*2 甲幅9cm以上(硬がに以外)

*3 漁期中にクロコになる

表2 前年との入網数の比較

水深帯	漁場	調査年	ズワイガニ入網数(匹/網)			アカガレイ 入網重量 (kg/網)	エチゼンクラゲ 入網重量 (kg/網)	海底 水温 ()
			オス	ミズ	メス			
200-350m平均	香住沖	2007年	4.2	12.4	10.1	11.3	70.4	1.6
		2006年	5.2	3.3	5.8	7.9	85.5	1.7
240-250m平均	竹野沖	2007年	3.0	3.0	168.0	2.2	0	1.6
		2006年	4.0	2.0	79.0	2.9	30	1.9
	香住沖	2007年	3.0	1.5	57.5	11.7	73	1.6
		2006年	4.5	1.5	42.0	18.6	74	1.5
	浜坂沖	2007年	5.0	6.0	105.0	26.0	35	1.6
		2006年	7.0	1.5	94.5	22.5	135	1.9

表3 カニかご試験操業におけるズワイガニ入網状況(2005-2007年)

揚かご年月日	定点	有効かご数	投かご水深(m)	ズワイガニ入網数(匹/かご)			海底水温(°C)
				オス	ミス	メス	
2007/6/12	250A(保護区域内)	20	251	0.9	0.4	0.5	1.5
	250B(保護区域西外)	20	254	0.3	0.2	0.1	1.3
2006/6/20	250A(保護区域内)	20	249	2.8	0.9	133.4	2.5
	250B(保護区域西外)	20	254	2.5	12.5	4.3	2.5
2005/6/21	250A(保護区域内)	19	249	1.3	1.5	72.7	1.4
	250B(保護区域西外)	20	253	1.7	1.4	30.1	2.0

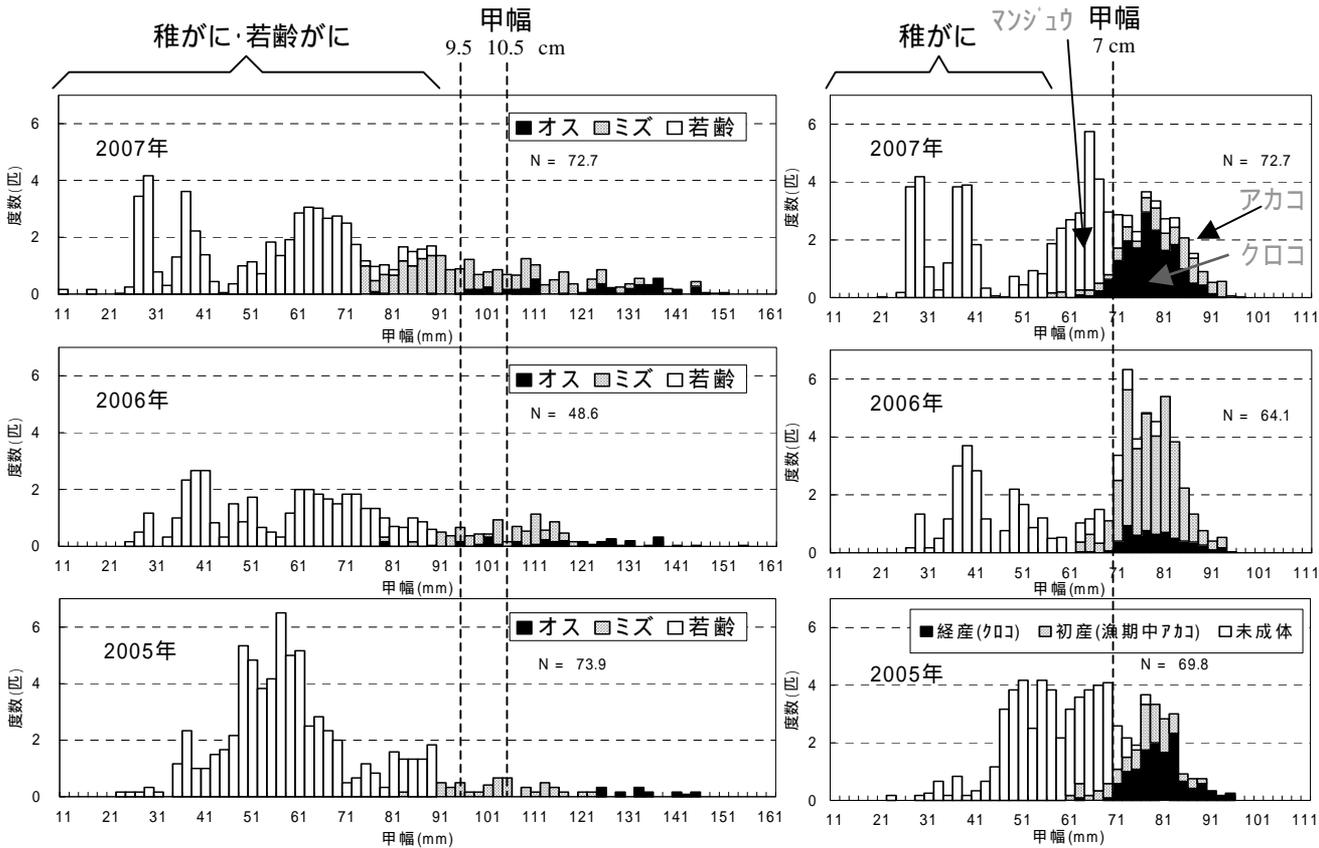


図2 トロール網によるズワイガニ甲幅組成の年推移(2005-2007年)
(10月、但馬沖水深200-350m、1.4マイル曳網当たり)